



つながる世代 広がる人の輪

この活動の中心になっているのは、子どもがこども園に通っている30〜40代の若い親世代。メンバーの中に山関係の仕事をしているお父さんがいることもあり、遊び場作りをしながら、山や自然の知識、草刈りやチェーンソーの使い方の勉強など、このまちで暮らす自分たちのスキルアップにも繋げていこうという想いもあるという。

リーダー的存在の門垣和樹さんは、じつは豊岡市からの移住者(『もつとぶらっと宿南編』)。外から宿南に入り、日々、地域の人の人柄の良さや、地域の可能性を感じている。自分たちがもつと楽しく暮らせるように、地域の会議やイベントにも積極的に関わって、地域を盛り上げているパワーのある存在だ。宿南といえば、小中学生の子どもがいるお父さんのグループ「良友会」が

あるが(『ぶらっと宿南編』)、その下の世代の親も、地元民、移住者関係なく混ざり合っただアイデアを出し、自分たちも楽しみながら宿南をもつと過ごしやすい場所にしていこうと動いているのが本場に詳しい。

さらにこの集まり、田舎に移住を希望する人など、宿南に興味のある人が誰でも参加できるのも魅力のひとつ。お父さんたちのアイデアで、インターネットでイベントを告知し、田舎暮らしに興味のある人を募集。山の体験をしてもらいながら、ここで暮らす人たちと触れ合い、田舎のリアルや素の部分を感じてもらおうと考えたのだ。この日は都会の子連れ家族が一組参加。集まりを楽しみつつ、仕事や教育、暮らしに必須の施設についてなど、心配事の相談もぶつけていた。「こういう機会がなかなかないのでありがたい」と移住希望者の方も喜んでた。

自分たちが楽しく活動していたら、自然と人にも伝わるし、輪が広がって地域も良くなる。そんなふうに動いている人が宿南にはたくさんいるから面白い。